

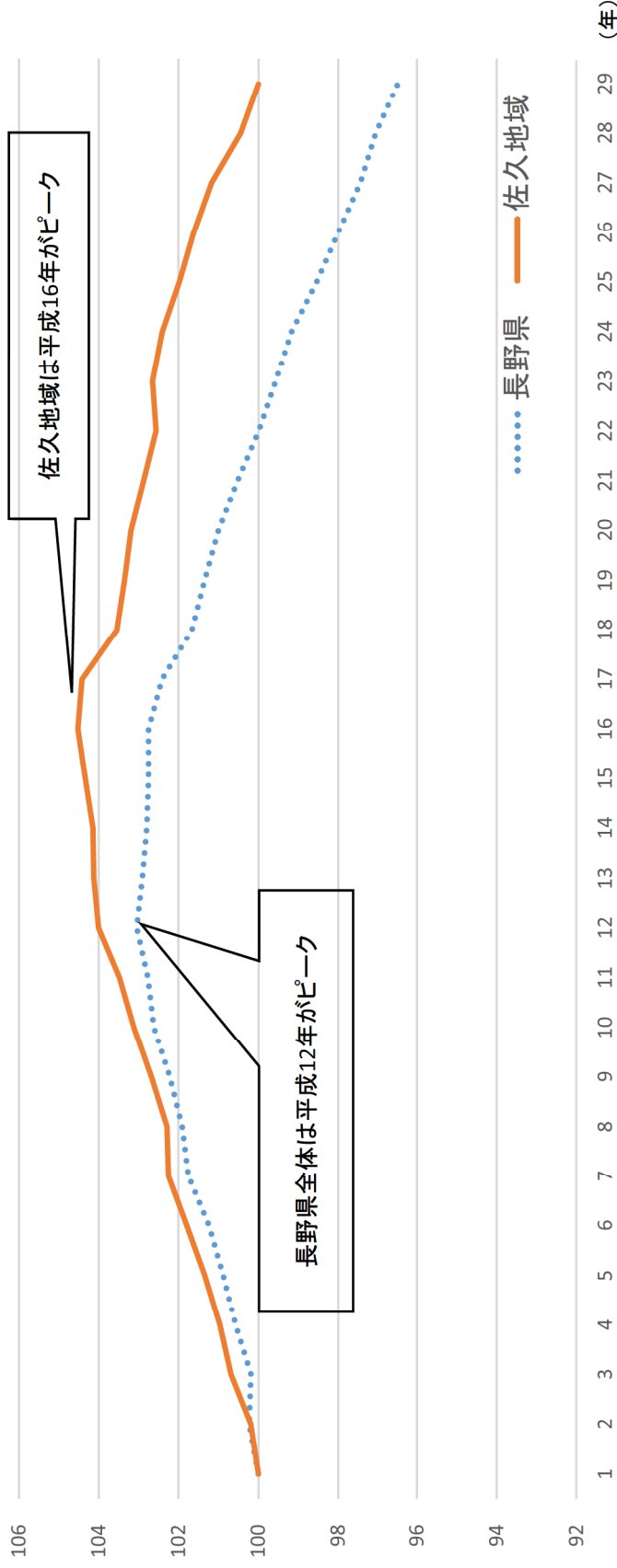
# 次期総合5か年計画における佐久地域の方向性

～佐久地域の長をさらに伸ばすために～

平成29年6月1日  
佐久地域振興局

# 1. 佐久地域と長野県の人口推移について

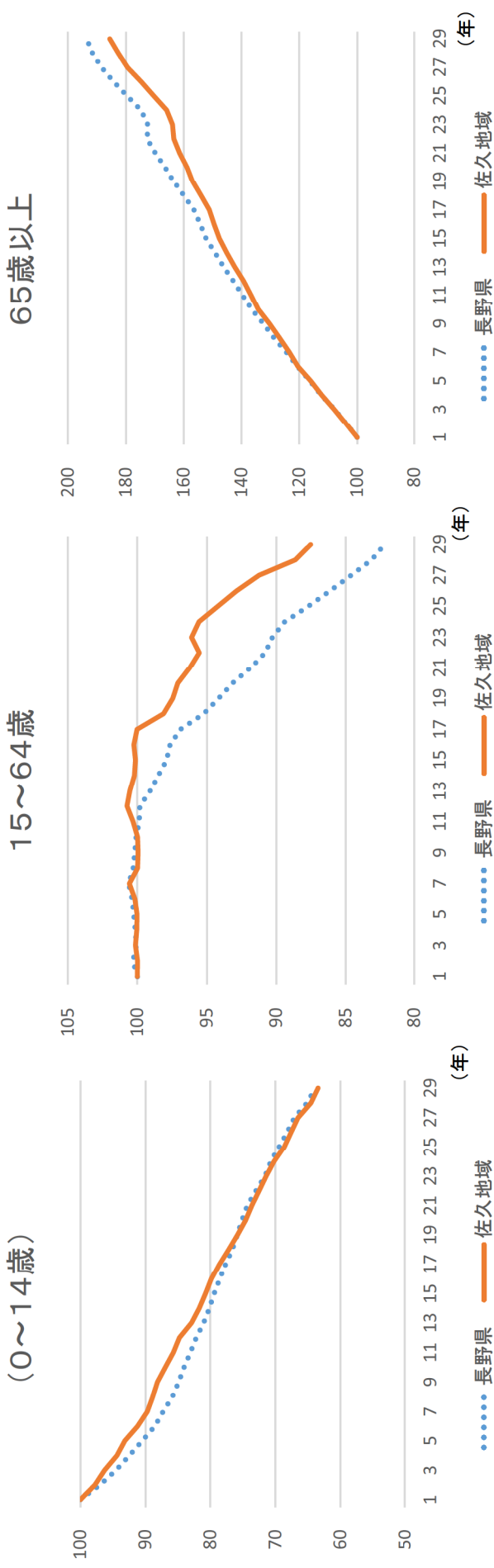
(1) 佐久地域と長野県全体の人口推移の比較 (平成元年の人口を100としたときの人口推移)



- 長野県の人口は平成12年をピークに減少が続き、平成22年には平成元年の人口を下回った。
- 佐久地域は平成16年にピークを迎え、その後減少に転じ、平成29年には平成元年程度となっている。

## (2) 佐久地域と長野県全体の世代別人口推移の比較

((平成元年の人口を100としたときの人口推移))



注1：毎月人口移動調査の各年度の4月1日現在の数値をもとに算出 注2：平成15年までの数値には北御牧村を含まない

- 0~14歳と65歳以上の人口の推移は長野県・佐久地域ともにほぼ同傾向。
- 15~64歳の人口の推移は、長野県は平成7年にピークを迎えたが、佐久地域では平成12年にピークを迎え、その後の減少は長野県全体より緩やかであった。

## 2. 佐久地域の特長(強み)

### ○佐久地域の優位性

- ・ 県内有数の観光地(軽井沢町・立科町など)が存在

→ H27年観光地延利用者数が全県2位

(全県)93,315千人 (佐久地域)15,031千人

※H26年観光地延利用者数は全県1位

- ・ 高原野菜や畜産を中心とした県内屈指の農業地帯

→ H27年度 農産物産出額が全県1位

(全県)2,916億円 (佐久地域)648億円

→ H27年度 野菜産出額が全県1位

(全県) 898億円 (佐久地域)430億円

→ H27年度 乳用牛産出額が全県1位

(全県) 126億円 (佐久地域) 39億円

- ・ 伐採期を迎えた優良なカラマツが数多く存在

- カラマツの面積が全県1位（平成28年4月）

- （全県）175,363ha（佐久地域）42,685ha

- うち伐採期を迎えたカラマツの面積も全県1位

- （全県）168,249ha（佐久地域）40,261ha

- ・ 保健活動や減塩活動などの健康に関する取組が盛ん

- 早期から医療機関による保健活動が推進

- 「“さく”とうす味みんなでキャンペーン」の実施（平成27年度～29年度）

## ○佐久地域固有の財産

- ・ 浅間山 → 国内有数の火山であるとともに「恵み」をもたらす財産
- ・ 美しい星空 → 観測施設や星空案内人が存在、JR小海線観光列車が運行開始
- ・ 首都圏からの近接性 → 長野県の「東の玄関口」
- ・ 中部横断自動車道 → H29年度末 佐久南IC～八千穂高原ICの開通

### 3. 佐久地域として目指す方向性

⇒佐久地域の特長(強み)を活かした、確かな暮らしと  
活力ある地域社会の持続

- ① 地消地産と健康を核とした地域づくり
- ② 地理的優位性を活かした移住・二地域居住の探求
- ③ 浅間山の防災体制強化及び活用
- ④ 美しい星空をテーマにした観光地域づくり
- ⑤ 新たな交流・物流に向けた中部横断自動車道の整備促進